

## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 協和エクシオ

上場取引所 東

コード番号 1951 URL <https://www.exeo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船橋 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 樋口 秀男

TEL 03-5778-1105

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	348,123	4.3	18,798	7.0	20,213	12.6	12,575	16.0
2020年3月期第3四半期	333,739	34.8	17,571	11.2	17,955	3.1	10,840	63.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 11,943百万円 (0.9%) 2020年3月期第3四半期 12,051百万円 (55.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	112.83	112.68
2020年3月期第3四半期	96.98	96.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	427,325	272,119	63.0	2,421.11
2020年3月期	444,905	270,109	59.9	2,395.16

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 269,213百万円 2020年3月期 266,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		41.00			
2021年3月期(予想)				41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	6.8	34,000	9.3	35,000	14.1	22,000	41.0	197.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年2月10日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	117,812,419 株	2020年3月期	117,812,419 株
2021年3月期3Q	6,618,294 株	2020年3月期	6,566,121 株
2021年3月期3Q	111,455,880 株	2020年3月期3Q	111,783,591 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手)

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響から当初景気が急速に悪化しました。その後、5月の緊急事態宣言解除により一旦回復の兆しが見えたものの、11月中旬以降に感染者数が大幅な増加に転じたことから、再び先行き不透明な状況となっております。

しかしながら、当社の事業領域である情報通信分野におきましては、IoTを支える通信技術として期待される5Gの商用サービス開始や地方部における高度無線環境整備推進事業の展開に加え、コロナ禍における働き方改革の取り組みなど民間企業を中心にデジタルトランスフォーメーションが推進されていることから投資が継続しており、また、建設分野におきましても、オリンピック需要が一巡したあと民間設備投資は減少傾向にあるものの、全国の重要インフラの維持・修繕関連などの公共投資は堅調に推移しております。

このような事業環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルスの影響でモバイル分野の工事でサプライチェーンの停滞等が若干あるものの、その影響は限定的で、主力の通信キャリア事業は、光回線需要の増加に伴いアクセス分野の工事が堅調に推移しており、都市インフラ事業とシステムソリューション事業においても、データセンターや教育機関向けの大型案件を受注するなど順調に推移しました。グローバル分野では、各国のロックダウンにより建設分野は影響を受けたものの、秋以降工事が再開するなど徐々に回復に向かっており、今後の成長に向け、事業基盤の確立に努めております。

なお、当社はこれまでもメガソーラーやバイオマス発電工事など再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでまいりましたが、このたび、福島県で太陽光発電と蓄電池システムを利用した、集会施設としては日本初となる電力会社からの供給を受けない完全オフグリッドシステム工事を完成させました。

また、2020年11月に開催されました「第58回技能五輪全国大会」において海老原徹社員が金メダルを獲得し、前回大会に続いて二連覇を達成しました。同社員は今回の金メダル獲得により、2022年に上海で開催予定の「第46回技能五輪国際大会」の日本代表に内定しました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は4,539億5千6百万円（前年同期比108.1%）、完成工事高は3,481億2千3百万円（前年同期比104.3%）となりました。損益面につきましては、営業利益は187億9千8百万円（前年同期比107.0%）、経常利益は202億1千3百万円（前年同期比112.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は125億7千5百万円（前年同期比116.0%）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

報告セグメント	協和エクシオ グループ (注) 2		シーキューブ グループ		西部電気工業 グループ		日本電通 グループ	
	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比
受注高 (注) 1	311,011	107.9%	56,531	103.7%	46,737	99.4%	39,676	131.7%
完成工事高 (注) 1	229,963	105.0%	47,676	91.7%	37,420	104.1%	33,062	122.9%
セグメント利益	12,461	98.2%	2,795	84.8%	1,930	279.3%	1,743	156.8%

(注) 1. 「受注高」「完成工事高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 報告セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループを含んでおりません。

（協和エクシオグループの概況）

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野において、コロナ禍に伴うテレワークの増加等により光開通工事が受注高・完成工事高ともに堅調に推移し、NCC分野においては、5G無線基地局工事の受注も増加し好調に推移しました。また、都市インフラ事業では、メガソーラーやデータセンター、道路通信工事等の大型案件の受注獲得に積極的に取り組み、システムソリューション事業では、大規模なネットワーク機器更改やODA関連のシステム構築案件を受注するなど順調に推移しました。

（シーキューブグループの概況）

通信キャリア事業では、NCC分野の5G無線基地局工事が堅調に推移し、都市インフラ事業では、高速道路の設備更改工事の大型案件を受注しました。また、システムソリューション事業では、一部案件の進捗にやや遅れがあるものの、GIGAスクール関連の新規受注拡大に取り組みました。

（西部電気工業グループの概況）

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野において、高度無線環境整備推進事業に伴う光開通工事を受注したほか、NCC分野の5G無線基地局工事を受注するなど順調に推移しました。また、システムソリューション事業では、GIGAスクール関連の受注などが堅調に推移しました。

（日本電通グループの概況）

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス系工事やNCC分野の無線基地局工事が順調に推移しており、都市インフラ事業・システムソリューション事業では、CATV工事やGIGAスクール関連の大型案件の受注が好調なほか手持工事も順調に推移しました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ175億7千9百万円減少し、4,273億2千5百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金の減少、未成工事支出金等の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ195億8千9百万円減少し、1,552億6百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金及び未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ20億9百万円増加し、2,721億1千9百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、本日（2021年2月10日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	47,550	44,431
受取手形・完成工事未収入金	166,098	108,571
有価証券	898	1,898
未成工事支出金等	42,542	83,816
その他	7,013	10,622
貸倒引当金	△94	△232
流動資産合計	264,009	249,108
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	34,447	34,146
土地	58,654	59,160
その他（純額）	14,575	15,305
有形固定資産合計	107,677	108,612
無形固定資産		
のれん	7,640	6,312
その他	5,136	4,486
無形固定資産合計	12,777	10,798
投資その他の資産		
その他	60,877	59,308
貸倒引当金	△436	△502
投資その他の資産合計	60,440	58,806
固定資産合計	180,895	178,217
資産合計	444,905	427,325

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	60,037	53,090
短期借入金	6,817	10,486
未払法人税等	7,863	2,088
未成工事受入金	9,762	10,513
引当金	7,779	4,908
その他	25,872	18,139
流動負債合計	118,132	99,226
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	8,965	8,263
引当金	750	514
退職給付に係る負債	8,436	8,846
その他	8,510	8,355
固定負債合計	56,662	55,979
負債合計	174,795	155,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	49,604	49,852
利益剰余金	211,195	214,676
自己株式	△11,795	△12,238
株主資本合計	255,893	259,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,210	4,646
為替換算調整勘定	193	△326
退職給付に係る調整累計額	6,156	5,713
その他の包括利益累計額合計	10,559	10,033
新株予約権	318	268
非支配株主持分	3,337	2,637
純資産合計	270,109	272,119
負債純資産合計	444,905	427,325

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
完成工事高	333,739	348,123
完成工事原価	290,003	301,024
完成工事総利益	43,735	47,099
販売費及び一般管理費	26,164	28,300
営業利益	17,571	18,798
営業外収益		
受取利息	25	20
受取配当金	719	1,080
その他	1,070	903
営業外収益合計	1,815	2,004
営業外費用		
支払利息	152	117
固定資産除却損	24	218
その他	1,254	252
営業外費用合計	1,431	589
経常利益	17,955	20,213
特別利益		
投資有価証券売却益	-	471
特別利益合計	-	471
税金等調整前四半期純利益	17,955	20,685
法人税等	7,080	8,213
四半期純利益	10,874	12,472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	34	△102
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,840	12,575

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,874	12,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,606	438
為替換算調整勘定	△227	△523
退職給付に係る調整額	△202	△443
その他の包括利益合計	1,177	△528
四半期包括利益	12,051	11,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,017	12,048
非支配株主に係る四半期包括利益	34	△105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。